



よこはま



URL <http://www.mod.go.jp/rdb/s-kanto/>



Photo:横浜港シンボルタワー

◇目次◇

- 1 局長挨拶
 - 2 南関東防衛局長から感謝状贈呈
 - 3 「御殿場市東山旧岸邸」リニューアルオープン（調整交付金事業）
 - 4 「自衛隊神奈川地方協力本部」の紹介・平成22年度自衛官等募集案内
 - 5 第23回航空事故等連絡協議会年次総会の開催・南関東防衛施設地方審議会の開催
 - 6 関係自治体だより
- 特集：平成22年度防衛省職員採用情報

編集企画：南関東防衛局 広報紙「よこはま」編集委員会
発行：南関東防衛局 総務部報道室 Tel 045-211-7129
〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎

局長挨拶



深山局長

平成22年度最初の広報紙「よこはま」の発行に当たり、防衛省南関東防衛局を代表してご挨拶申し上げます。

私は昨年8月に局長に就任いたしました。

翌9月には、「政権交代」があり、従来の防衛政策のいくつかも見直しされました。インド洋における海上自衛隊艦艇による補給支援活動は終了することとなり、また、普天間飛行場については、その移設先について特定の前提を置

かず、あらゆる選択肢を幅広く検討することとされています。このように見直されている分野はありますが、私は、自衛隊や米軍の基地等が所在することによる周辺自治体、住民の皆様への負担を軽減するための事業を行う、また、防衛省の施策について御説明を行うといった南関東防衛局の業務の重要性はいささかも変わるものではないと考えています。例えば昨年秋に実施された「事業仕分け」においても、防音工事等の助成事業の意義が再確認されたのもそのことを示していると思います。

今年も、南関東防衛局が取り組まなければならない業務は多岐にわたります。まず、静岡県東富士演習場の使用協定の更新については、21年度中に是非とも円満な決着を見るように努めたいと思います。また、横浜市に所在する米軍施設・区域の大規模な返還につながる池子住宅地区における米軍家族住宅の建設等、相模総合補給廠の一部返還・共同使用、キャンプ座間の一部返還などといった懸案事項についても、解決に向けて、自治体をはじめとする関係者の方々と精力的に協議をしていきたいと考えています。更に、厚木基地周辺の住宅防音工事をはじめとする助成事業も着実に進めていく所存です。

このような業務に加え当局管内における「防衛行政の拠点」として、今年も防衛問題セミナーの開催、防衛白書の説明といった事業を、各自衛隊の駐屯地・基地や各県に置かれている自衛隊地方協力本部とタイアップし、工夫しながら実施していきたいと思っています。

申すまでもありませんが、日本の安全保障のためには、自衛隊と米軍の駐屯地・基地・演習場などの防衛施設が必要不可欠です。そしてこうした施設を安定的に使用するためには地元の自治体や住民の方々の御理解と御協力がどうしても必要です。

私たち、南関東防衛局は上記のような施策を通じて、そのための努力を今年も精一杯して参りたいと考えています。皆様方から御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

南関東防衛局長から感謝状贈呈



11月27日 鈴木康友 浜松市長(左)
(於:浜松市役所市長室)

平成21年11月27日、航空自衛隊浜松基地にかかる重要な諸問題の処理について積極的に尽力された浜松市長に感謝状を贈呈しました。

平成21年11月26日、在日米海軍上瀬谷通信施設にかかる重要かつ困難な諸問題の処理について積極的に尽力された前上川井農業専用地区協議会会長に感謝状を贈呈しました。

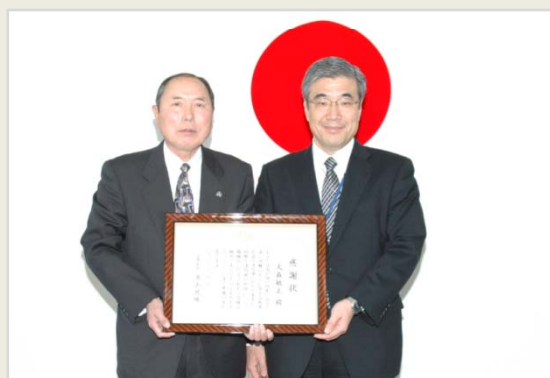


11月26日 田中 正 前上川井農業専用地区協議会会長(左)
(於:南関東防衛局長室)

平成21年12月2日、陸上自衛隊北富士演習場にかかる重要かつ困難な諸問題の処理に積極的に尽力された富士吉田入会組合連合会長、前忍草入会組合長に感謝状を贈呈しました。



12月2日 佐藤延幸 富士吉田入会組合連合会長(左)(於:吉田防衛事務所)



12月2日 大森敏正 前忍草入会組合長(左)
(於:吉田防衛事務所)

「御殿場市東山旧岸邸」リニューアルオープン(調整交付金事業)

昨年11月18日、御殿場市東山旧岸邸の開館記念式典が行われました。東山旧岸邸は、第56・57代内閣総理大臣を務められた岸信介氏が、晩年の17年間を過ごされた邸宅で、平成15年に御殿場市に寄贈されたものです。

今般、市による耐震化改修工事等を終えオープンすることとなり、式典には、岸氏の長女である安倍洋子氏、御殿場市長を始めとする地元関係者、当局からは邸宅に隣接する展示研修棟について調整交付金事業によりお手伝いをさせて頂いたこともあり、深山局長が出席しました。

邸宅は、市中心部の東方に位置する東山に所在し、敷地面積5300平方メートル、延べ床面積約570平方メートルで、建築は日本を代表する建築家で文化勲章を受章している吉田五十八(よしだ いそや)氏の作品で、近代数寄屋建築の手法を使い、柱を少なくした西洋的な大壁で設計され、間取りには私的空間と公的な接客部門とを分ける工夫が施されており、建物の南側には、海外からの賓客を迎えるための小川の流れる美しい和風庭園も造られています。

このように、歴史的にも建築学的にも魅力のある旧岸邸を是非ご来館され、癒されてみてはいかがでしょうか。

(御殿場市東山旧岸邸問い合わせ先TEL. 0550-83-0747)

東山旧岸邸ホームページ：<http://www.kyu-kishitei.jp>



和風庭園からの旧岸邸



旧岸邸内の展示室



展示研修棟(右側が旧岸邸)



アクセス

平成22年度 防衛省職員採用情報



防衛省Ⅰ種採用試験（研究職）

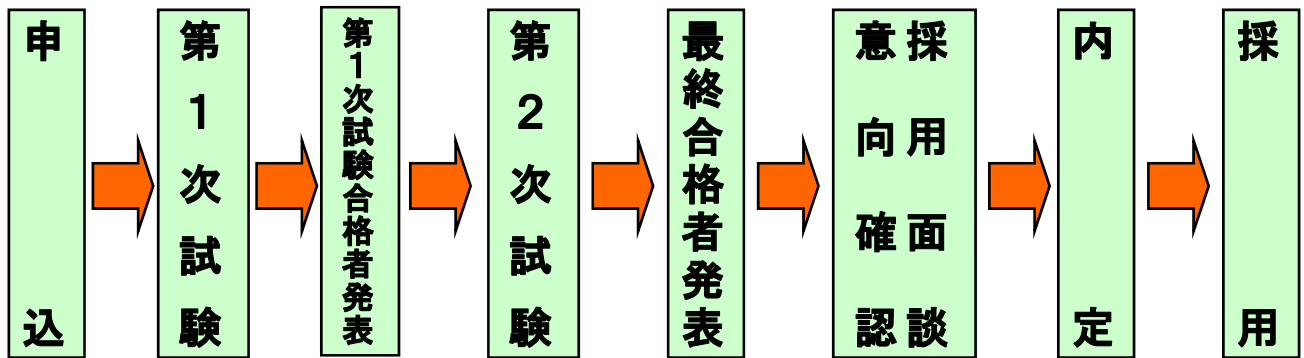
- ・ 試験区分 : 数学、化学、電子、機械、造船、航空
- ・ 採用予定数 : 各試験区分毎 若干名
- ・ 採用予定機関 : 海上・航空自衛隊、技術研究本部
- ・ 申込期間 : H22.4.1(木)～H22.4.12(月)
- ・ 第1次試験 : H22.5.9(日)
- ・ 第1次試験地 : 東京都ほか地方都市

防衛省Ⅱ種採用試験（事務職）（技術職）

- ・ 試験区分 : 行政、語学（英語）、国際関係（英語、中国語、朝鮮語）、数学、電気・電子、機械、土木、建築
- ・ 採用予定数 : 各試験区分別（行政：約60名、ほか）
- ・ 採用予定機関 : 陸上・海上・航空自衛隊、情報本部、装備施設本部、地方防衛局ほか
- ・ 申込期間 : H22.4.1(木)～H22.4.12(月)
- ・ 第1次試験 : H22.6.13(日)
- ・ 第1次試験地 : 東京都ほか地方都市

防衛省Ⅲ種採用試験（事務職）（技術職）

- ・ 試験区分 : 一般事務、電気、機械、土木、建築
- ・ 採用予定数 : 各試験区分別（未定（決定次第公表））
- ・ 採用予定機関 : 陸上・海上・航空自衛隊、技術研究本部、装備施設本部、地方防衛局ほか
- ・ 申込期間 : H22.7.1(木)～H22.7.20(火)
- ・ 第1次試験 : H22.9.26(日)
- ・ 第1次試験地 : 東京都、横浜市ほか地方都市



おおむね
平成23年4月1日
に採用

☆2010パンフレット☆

防衛省職員（特別職）として勤務する事務官・技官を紹介したパンフレットを作成し、防衛省の各機関等で配布しています。



細部（受験資格、業務説明会案内等）については、

「防衛省ホームページ」の「採用情報」
で紹介しています。

<http://www.mod.go.jp/>

※「防衛省」で検索してみてください

皆さんのお申込みをお待ちしています！！

「自衛隊神奈川地方協力本部」の紹介

自衛隊神奈川地方協力本部（略して神奈川地本）は、横浜市中区山下町に本部を設置（平成20年3月1日開庁：広報センターを一階に併設）し、県下12ヶ所に出先事務所を配置しております。

神奈川県下における防衛省・自衛隊の総合窓口として、自衛官等の募集、各種広報等の任務を担任し、神奈川県民と共に歩むべく「明朗・誠実」・「日々前進」をモットーに日々努力を重ねております。



本部長

飛鳥II船長と再会する本部長

本部長の紹介

[H 21. 12. 1 着任]

1等海佐 五島 浩司[ごとう ひろし]

[第1次派遣海賊対処水上部隊指揮官]



業務紹介 1 (広報)



オーラビジョンによる迫力ある映像を放映しました

女性広報官

「海上自衛隊横須賀サマーフェスタ2009において防衛省・自衛隊の広報」



業務紹介 2(募集)



詳しくはホームページを！！

<http://www.mod.go.jp/pco/kanagawa/>

広報センターやってるよ!
見学無料!! 自衛隊神奈川地方協力本部 広報センター

皆様のお越しをお待ちしております

開館日: 平日 09:00~16:00
休館日: 土曜、日曜、祝祭日、年末年始
(イベントにより臨時に開館することがあります。)

自衛隊って何やってるのかな? 興味はあるけど... どのくらい入らなきゃいけません? 気軽に相談してください。

自衛隊神奈川地方協力本部 広報センター
〒220-8501 神奈川県横浜市中区山下町2-2-2
TEL: 045-661-2111 FAX: 045-661-2112
E-MAIL: pco@kanagawa.mod.go.jp

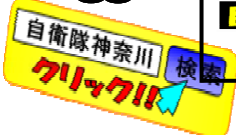


[幹部候補生説明会(4月開催予定)]



業務紹介 3 (広報)

イベント紹介(広報)



HAMATARO

参加費 無料!

参加者 募集中!

自衛隊O×クイズ大会!
若者品体験!

平成22年3月20日(土)開催(広報センター)

広報センター イメージキャラクター



「浜太郎」

平和を、仕事にする。

平成22年度自衛官等募集案内(4月～5月受付分)

募集種目		募集人員	資格	受付期間	試験期日
幹部候補生	一般・技術	参考(21年度) 一般 (男子)・(女子) 陸約145名・約15名 海約70名・約10名 空約70名・約10名 技術海約20名	20歳以上26歳未満の者(22歳未満の者は大卒(見込含))(大学院修士学位取得者(海上技術幹部候補生志願者は、理工学修士学位取得者に限る)及び自衛官は28歳未満)	4月1日～ 5月10日	5月15日、16日の2日間(16日飛行要員のみ)
	歯科・薬剤	参考(21年度) 陸約15名 海約5名 空約5名	専門の大卒(見込含)20歳以上30歳未満の者(薬剤は20歳以上26歳未満の者(薬学修士学位取得者は、28歳未満))	4月1日～ 5月10日	5月15日
一般曹候補生(第1回)		参考(21年度) (女子数) 陸約4,040名(約160名) 海約850名(約75名) 空約810名(約90名) 第1回と第2回(8月1日～9月10日受付)	18歳以上27歳未満の者	4月1日～ 5月10日	5月22日
予備自衛官補	一般	約1,400名	18歳以上34歳未満の者	1月12日～ 4月9日	4月17日～ 4月19日のいずれか1日
	技能	約200名	18歳以上で国家免許資格等を有する者(資格により53歳未満～55歳未満の者)		

※上記種目以外に医科・歯科幹部等があります。

詳細は下記の地方協力本部にお問い合わせ下さい。

- ◇ 自衛隊神奈川地方協力本部
〒231-0023 横浜市中区山下町253番地2号
045-662-9429 <http://www.mod.go.jp/pco/kanagawa/>
E-mail:recruit1-kanagawa@pco.mod.go.jp
- ◇ 自衛隊山梨地方協力本部
〒400-0005 甲府市北新1丁目7-9
055-253-1591 <http://www.mod.go.jp/pco/yamanashi/>
E-mail:hq1-yamanashi@pco.mod.go.jp
- ◇ 自衛隊静岡地方協力本部
〒420-0821 静岡市葵区柚木366
054-261-3151 <http://www.mod.go.jp/pco/sizuoka/>
E-mail:hq1-sizuoka@pco.mod.go.jp

第23回航空事故等連絡協議会 年次総会の開催

平成22年1月28日（木）、南関東防衛局において、「第23回航空事故等連絡協議会年次総会」が開催されました。



会議には、22関係機関から約80名が出席し、当局の館山管理部長の挨拶の後、本田業務課長が前回の年次総会以降に発生した航空事故等に伴う通報手続きの事例等について報告、続いて米海軍厚木航空施設運航部長デイビス少佐から、「航空の安全と協力体制」と題し、米海軍における航空事故への対応等について講演が行われました。

出席者からの発言の様子



(在日米陸軍ローパー渉外部長)



(在日米海軍司令部ニーマイヤ政務補佐官)



米海軍厚木航空施設運航部長デイビス少佐の講演の様子

航空事故等連絡協議会とは

昭和52年9月の神奈川県横浜市緑区米軍機墜落事故を契機に、関係機関相互の迅速な連絡調整体制を整備し、総合的な応急対策の実施について連絡協議することを目的として、昭和62年以降、毎年総会を開催しています。

南関東防衛施設地方審議会の開催



平成22年1月15日（金）、横浜市内のナビオス横浜で、南関東防衛施設地方審議会が開催されました。

当日の審議会は、会長の互選、当局からの主要業務等の説明が行われ、午前中で会議を終了。

午後から、米海軍横須賀基地で米空母ジョージ・ワシントンの視察が行われました。



(会長に選出された小野委員)

関係自治体だよ

座間市は、神奈川県ほぼ中央に位置し、17.58km²の市域に12万9千人の市民が暮らす人口稠密な都市です。現在は、首都圏のベッドタウンとしての環境整備を進めるとともに、産業面では企業誘致制度により電気自動車の心臓部であるリチウムイオン電池の開発、生産拠点が立地するなど、活力とやすらぎが調和する安全、安心なまちづくりを進めています。

本市には、在日米陸軍司令部等が置かれている『キャンプ座間』が所在し、その62ヘクタールに及ぶ面積は、まちづくりのうえでも大きな障害となっています。この基地の歴史は、昭和12年に東京から陸軍士官学校が移転したことに始まり、昭和20年の終戦とともに米軍に接收され、以来、60有余年にわたって米軍基地として存在し続けています。また、昭和46年には陸上自衛隊の施設部隊の一部が移駐し、座間分屯地として米軍と共同使用しており、更に、平成19年に米軍再編により米陸軍第一軍団（前方）司令部が設置され、基地機能が強化されました。

このため、本市としては基地の整理、縮小、返還、そして負担軽減策の具現化を求め、国との協議機関である「キャンプ座間に関する協議会」において定期的、継続的に協議を重ねるとともに、その際には、行政、市議会、自治会並びに各種公共的団体の代表で組織する「座間市基地返還促進等市民連絡協議会」と連携し、意見を伺うなどの確な対応に努めています。

また、隣接する綾瀬市・大和市に所在する厚木基地の米海軍空母艦載機に起因する航空機騒音は、市民生活に多大な苦痛と不安を与え、大きな障害となっていることから、夜間連続離着陸訓練（NL P）の代替訓練施設での訓練の徹底等、国の責任において抜本的な対策を講じるよう粘り強く取り組んでいます。

南関東防衛局には、今後とも本市をはじめ基地を抱える自治体の課題をしっかりと認識し、一層きめ細やかな取り組みを期待しています。

（座間市渉外課）



座間の大凧まつり



ひまわり広場



座間の街並み(市庁舎を中心に富士を望む)



座間の湧水